

【道徳・中2・「自分を信じて生きるとは…」D よりよく生きる喜び】①

育成を目指す資質・能力

悩みながらも自分の弱さを克服した主人公に共感し、人間には自らの弱さを克服する強さがあることを理解し、誇りをもって気高く生きていこうとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

ICT活用のポイント

ファイル共有機能を活用することで、生徒の考えを共有し、多様な感じ方や考え方に触れる機会を設け、議論を活発にし、道徳的価値について多面的・多角的に考えられるようにする。

【導入】

・事前のアンケート結果を提示し、本時で扱う道徳的価値について問題意識をもつ。
「いけないことだと分かっているけど、自分を抑えられないことがあるな。」

【展開】

・よりよく生きることについて教材を基に考えをもち、交流する。
「もし自分がエイミーの立場だったら、ドーピングを認める発表をしますか。発表しませんか。」
「エイミーは、ドーピングを告白しようと思ったのはなぜだろう。」

【終末】

・本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。
「今後、自分の心の弱さが見えたとき、どんな自分でありたいですか。」

事例の概要 教材名：「本当の私」（東京書籍）

【事例におけるICT活用の場面①】

○本時で扱う道徳的価値について、事前にICT端末でアンケートを行い、集計した結果を導入で提示することで、生徒が問題意識をもてるようにする。

【事例におけるICT活用の場面②】

○登場人物を自分に置き換えて考える場面で、自分の考えをICT端末上に色カードで示し、全体で共有する。
○中心発問に対する自分の考えを短い言葉でICT端末に入力し、全体で共有する。

【事例におけるICT活用の場面③】

○これからの自己の生き方についての考えをまとめ、ICT端末上で教師に提出する。

【道徳・中2・「自分を信じて生きるとは…」D よりよく生きる喜び】②

【事例におけるICT活用の場面①】



事前アンケート結果をグラフで示し、クラス全体の傾向を把握することで生徒に問題意識をもたせることができる。

「私は正直に言えないけど、言える人もいるのだな。」

【事例におけるICT活用の場面③】

今までの自分と、これからの自分の生き方について振り返り、ICT端末上で提出させ、保存する。教師は、記述内容を把握し、意図的指名で生徒の考えをクラスに共有する。

【事例におけるICT活用の場面②】



「自分が登場人物だったとしたらどうするか」についての考えを大型提示装置に表示。中心発問に対する考えを全体で共有した後に、小グループで議論する。

「嘘をついて金メダルをとっても…。でも…。」



「自分をごまかし続けることはできない。本当の自分でいたい。」

【学びの記録を蓄積】
成長の様子を継続的に把握し、評価に生かす。

【活用したソフトや機能】
・アンケート
・ファイル共有機能
・学習支援ソフト